

議会広報特別委員会

日 時	令和2年9月30日(水) 開会中	10時40分 開会 11時30分 閉会
場 所	相良庁舎4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 2番 濱崎一輝	(副委員長) 3番 原口康之
	6番 藤野 守	5番 平口朋彦
	4番 吉田富士雄	
欠席議員	1番 鈴木長馬	
法第105条出席		
事務局	書記 本杉周平	
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

[午前 10時40分 開会]

開会の宣告

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、時間になりましたので、ただいまより議会広報特別委員会を開会いたします。
なお、本日の委員会には、鈴木長馬委員は欠席しております。

2 事件 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」第60号について

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、事件に入ってまいります。

牧之原市議会だより「かけはし」第60号についてということで、ページ割の構成の決定について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

よろしく願いいたします。

本日は、前回、前々回と少しご検討いただいて、内容をもとに、きょう一応第60号のページ構成の決定のほうをいただきたいと考えております。

資料につきましては、A4横判の比較表というものが一つと、あと9月定例会の決算連合審査会における質疑及び補正予算連合審査会における質疑ということで、少し資料のほうをつくらせていただきましたので、よろしく願いいたします。

では、比較表、横判のもので少しご説明のほうをさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

前回、議会報告会の記事の場所のほうでも少しご検討いただいたので、大方そのときのもので決定という形で取らせていただいております。まず、前回協議いただいた議会報告会の記事ということですが、巻末の前4ページ、それか中盤の4ページということで、少しご意見がありましたけれども、とりあえず巻末の4ページということで、この案については書かせていただいておりますので、ご了承いただければというふうに思います。

では、上からですが、上の表紙から、9ページまでにつきましては、今のところ変更のほうをしておりません。ただ、9月定例会報告、2ページ3ページとありますけれども、質疑が若干少なかったのかなというところもございまして、2ページになるかどうかというところが、少し懸念しているところではありますけれども、おおむね2ページ取らせていただいて、その中でつくらせていただこうかなと思っています。

その下、4ページ、5ページ、決算連合審査会報告とありますけれども、こちらにつきましては、前回第56号が一番左端にあります、それと同様、2ページを想定させていただいておりま

す。

その下、6ページが補正予算連合審査会の記事1ページ、7ページ目が意見書の提出ということで、すみません、9月11日の広報委員会のおときには、意見書が一つの予定だったんですけども、先ほどの全協でのご説明もありましたとおり、意見書が2件出るという形になります。

なので、今のところ1ページの上段、下段ということで、意見書を2件ですか、書くような予定でこのページ割はつくらせていただいたというところでございます。

8ページが7月の臨時会、そして9ページが9月定例会及び7月臨時会の議案の一覧、議決結果という形で想定をしております。

10ページから15ページが一般質問、6名の方の記事。

その後、4ページが議会報告会の記事、そして巻末の記事という形でページ構成のほうはいかがかなというところでございます。

表紙の榛原中学校につきましては、28日の校長会のほうで学校教育課から依頼をしていただきましたので、来週ぐらいになりましたら、私のほうから中学校のほうへ依頼のほうをさせていただくような予定でおります。

少し、ご協議いただきたい点といたしますと、その後ろに資料のほうでホチキスどめのものとA4、1枚のもの、要は決算連合審査と補正予算連合審査の質疑箇所を書かせていただきましたけれども、特に決算連合審査につきましては、2ページということで今想定をしておりますので、全て載せるということが、なかなか難しいのかなというふうには思っております。

2ページといたしますと、大体13件、14件ぐらいの質問かなというふうには思っておりますけれども、その辺、どのような形で調整いただけるのかというところを協議いただければというふうに思います。

また、巻末、今編集後記、平口委員のほうにお願いをしたいと思っておりますけれども、そうすると、その上半分が少しあきますので、そこの特集記事につきましても、どうしようかなというところで考えておりますので、その辺少し、ページの構成とともにご協議いただければというふうに思いますので、よろしくお願いたします。

以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

説明ありがとうございました。

それでは、今ページ割のご説明があったように、一応こんな形で進めていきます。

こちらの、決算連合審査の何を載せるかということになりますけれども、とりあえず、これまでやってきたように、とりあえず一人ずつの分担を分けて記事をつくってもらって、その中から抜粋していくという形にしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

原口委員。

○（原口康之君）

一点、確認させてください。ちょっと鈴木長馬委員が休んでいるということで、今後というか、

広報委員会の出席とか、割り振りの関係というのは、その辺はどう考えているかというか、どうなるのか、確認させてください。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

委員会条例のほうで、開催につきましては、委員の半数がおれば開催できますので、委員会の開催はそれで問題ないかと思います。

割り振りというのは、この記事の割り振りとか、そういうことですか。

その辺は、皆さんの中でご判断いただいて、長いことお休みになられるとは、私も聞いていないものですから、もし無理なようなら、振っていただいて無理なようであれば、またどなたかにご負担いただくという形でよろしいのかなとは思っていますけど、その辺は委員会の中で決めていただければと思いますので、よろしくお願いします。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

たまたま、常任委員会の委員長、副委員長ということで、お電話をいただいているんですけど、その中の話で聞く分には、恐らくですよ、その当時ですけど、例えば本会議の最終日、5日には出てこられるんじゃないかという話はしていらっしやったので、それほど長期になるとは、今のところは聞いてはいないです。

ただ、今お話があるように、入院中にまた体調の具合が悪化したりといったら、それはそのときに考えたほうがいい。10月5日に来られるということは、今の時点で役割を振っても対応していただけるのかなと思います。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝君）

とりあえず、鈴木長馬委員も入れた中で割り振りをしていきたいと思っています。

今、再検査の結果、またこれが治療が必要だということになってくれば、その場合は、また割り振りを考えていかなきゃならないと思うので、とりあえず、長馬委員を入れた中での割り振りをしていきたいというふうに思っております。

あとは、最後のページですね、半ページ上段になりますけれども、何を載せたらいいかというところですけども、皆さん方からご意見いただければと思うんですけども、どうでしょうか。何がいいと思いますかね。

平口委員。

○（平口朋彦君）

早速で申しわけないんですけど、文教さんが視察に行かれていますので、それは一つ記事になるのかなと。しかも、市内企業者さんへの視察なので、批判も出にくい。批判と言ったらおかしいんですけど、このコロナ禍でも、市内で議会が活動しているということは、一つ記事になるのか

などは思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

そのほか、また今の意見に関連することがあれば。

藤野委員。

○（藤野 守君）

市内の視察について載せるというご意見だったんですけれども、一応市内ですから、やりやすい、報告しやすいということはあるんですけれども、ただ、一企業に対して伺って視察をしたということについて、当然固有名詞も出てくるし、その辺、ちょっと議員がそういうことはしょっちゅうあるんですからいいと思うんですが、その辺、ただ、少しどうかと思う部分があるんですけど、もしご意見があれば伺いたいと思うんですよ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

藤野委員のおっしゃることも、すごいよくわかるんですよ。競合他社があるような業種ではないので、さりとて議会だよりも、一私企業の名前が出て、それが宣伝になったり、利益供与には絶対ないんですけど、そういったことがいがかかというのを非常にあるんですけど、先般行われました決算連合審査の中でも、質疑のやりとりの中で、大石委員だったか植田委員か、どちらかの中で、市長がゲネシスについては言及されていましたよね。あれは議事録なので、絶対にそのまま載っちゃうというのがあるので、あれなんですけど、ある程度廃棄物を処理するというのに関していえば、しかもバイオマスでやっているということに関しては、一私企業の企業活動といえ、公益性が全くないというわけでもないと思うんですよ。そういったことを考えれば、営利目的でやっている営利団体ではありますが、公益性が多少なりともあるということを考えれば、妥当というか、まるっきり適当かどうかは別として、妥当性はあるのかなと。若干妥当性はあるのかなと思いますね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございます。

ちょっとご参考になるかあれですけれども、過去の広報の中でも、市民会議ということで、いろいろな団体さんと会議をやられていると思うんですけれども、例えば54号、令和元年5月の発行号では、例えば総務建設委員会さんがブレスト地頭方さんとやったよであったりとか、文教厚生委員会さんが憩の家みちに行きましたよということで、固有名詞が全部載ってはいるので、ちょっと今のお話の件と、そぐうかどうかはまたちょっとあれですけれども、議会としてやられている行動でということで、多分、固有名詞を全部載せているのかなとは思っているところではあります

けれども、その辺ちょっとご協議いただければと思いますけれども。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

憩の家さんは介護保険事業の一環として、何らかの市のあれが出ているんですよ。ブレスト地頭方さんに関しても、沿岸活性化の中で市のお金が出ているというところもあるのでということで、ゲネシスさんはないですよ。100%自分のところでやっていて、今後、一般廃棄物を市がある程度の量を委託するというならともかく、そういう話が今回の記事には絶対出てこないとは思いますが、何ら全く関係ない一私企業だということを藤野委員は懸念されているということです。市民会議でもないのでもしというところもあってというのは、よくわかりません。非常に。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

藤野委員。

○（藤野 守君）

仮に、固有名詞を出さないように、そういう企業へ行ったというのだとおもしろくないかな、記事として。どうなのかね。

固有名詞を出さずに、こういうところに行ったということ、そういう内容にしたら、記事としてつまんなくなっちゃうかなって。もしね、ゲネシスということを出さずに、こういうような類の企業に視察に行ったということにしたらどうかなという考えも出てくるかなと思うんだけどさ、そうすると記事としてちょっとおもしろくないかなと思ったりするわけで、どうなんだろうね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

名前、そらんじて言えないんですけど、廃棄物の処理方法の推進法が何年前にできましたよね。あれには、処理方法というか、リサイクルしていく中で優先順位が五つ出て、まずはごみを出すなど。次、出すんだったら再利用しよう。再利用ができなかったら再使用をしよう。再使用ができなかったら熱回収をしろ。それもできなかったら、適正に処分をしろよと、ほっちゃってもいいけど処分をしろよという、五つの指針が示されて、優先順位もきっちりその5個並べられているんですよ。そのうちの、バイオマス発電というのは、言ってみれば熱回収、そういう、だから国が法律によって進めていることを、実践しているところなので、文教厚生委員会がこれからの環境について考えるというところで、どういうふうにエネルギーの再利用をしていくんだ、再使用をしていくんだ、熱回収していくんだというものの、一つの事例として、しかも市内で行われているということで、一つの事例として見に行きましたという記事だったらおもしろいかなと、勝手に思っているんですけど、書くのは私じゃないので、何とも言えないんですけど。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

私も、平口委員と同じですね。そういう取り組みをしているところを、今後の参考のために行っているというのは、大いに載せる意味があるなと思うので、特に問題はないのかなと思います。
藤野委員。

○（藤野 守君）

わかりました。とりあえず、そういう方向で記事を書くというか、報告書を書いてきます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

上部に関しては、文教厚生委員会の視察を載せるというところで。

○（平口朋彦君）

裏全部使うのか、もう一記事載せるのかというのは、心配ないね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

特に載せるのあるの。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

第59号ですと、自分がすみません、こんな感じで上ほぼ半分ぐらいですか、使ってここの辺ですか、ジーボの視察は書かせていただきました。

今回は、表彰がないので、例えばこれを全部使うのか、例えばもう一つ入れるのかというような、その辺かなというふうには思いますけれども、もし何もほかに特にということがないよということであれば、半分だけ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

特にほかないよね。

○事務局書記（本杉周平君）

もし、議会として何かやられた活動というと、例えば先ほどの全協で議長からも報告がありましたけれども、坂口谷川の要望活動とかには、代表して行かれていたりもするので、そのぐらいというと、ちょっと失礼ですけれども、という形かなというところはあるんですけども。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

島田土木事務所の所長と、あと県庁では交通基盤部の部長に会って要望してきました。川勝さんとは会っていないです。

ただ、結構これって、定期的に載っている記事でもあって、議会広報ではそうでもないのかな。余りおもしろみがある記事ではないんですよ。確かに。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

藤野委員。

○（藤野 守君）

ただ、文教厚生委員会だけ半ページそうやって載せちゃうと心苦しいので、何かないかなと思

って、ちょっと振らせてもらったけど、そういうことです。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

じゃあ、ボリュームを見て、どっちがどうって、半々になるかどうかは別として、坂口谷川の水門の要望活動の記事もこちらでつくってみます。幾らでも、つくる分にはつくるので。長く書く分には、幾らでも長く書けるのであれですけれども。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、今の話で、総務と文教それぞれ載せるというところで、記事の準備をお願いいたします。

それでは、決算連合審査のほうの割り振りをしていきたいと思っておりますので、とりあえず、私のほうで割り振っちゃっていいですかね。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

全部はさすがに載せられないものですから、例えば市民の方の興味を引く部分というような形で選ばれるのか、ちょっとあれですが、おおむね13、4個を選んでいただければ、ちょっとスペースによっては削らせていただく場合もあるかもしれませんが、大丈夫かなと思っておりますけれども。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、先に一気に割り振っても大変なので、必要のないものを省いていきたいと思っております。

まず最初のページから見ていただいて、上からざっと見ていきますけれども、特にこれはいらぬよというものは、何かありますかね。

平口委員。

○（平口朋彦君）

大前提として、採用する、採用しないで、採用しないほうの基準として、例えばですね、いらっしやる、いらっしやらないは別として、上から何行目かな、ざっくりイメージとして、今後の話をされているのは、決算審査にはそぐわないんですよ。このまま来年はどうするんだとか、そうじゃなくて、やっぱり決算審査というのは、振り返りのあれなので、前年度の成果を聞いているものとか、そういったものにしたいなと思うので、時間軸として、未来志向の質問は省いたほうがいいのかと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

その考え方でいくと、見ていって、これは将来的なことやってるなというところは外すという形でよろしいですかね。

平口委員。

○（平口朋彦君）

219の大石議員のIR、第2期のことを聞いてしまっているの、これはもうあれですね。

あと、219の鈴木長馬議員の、このままの賃借でいくのかというの、これはちょっと先々の話になっちゃうのかなと。

逆に植田議員の219のやつは、コロナ後の生活を考慮しての考え方はまずいんですけど、その前はいいですよ。平成28年度からの実績について、どう考えているかというのは、要は決算を受けての総括というのを聞いていると思うので、前はいいとは思んですけど、後ろになるとちょっとあれかなと。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

後ろの部分を抜くという形ですね。

平口委員。

○（平口朋彦君）

何を載せてほしいというと、それは皆さん自分のこれを載せてくれというのが多分あると思うのであれですけど、あれじゃないですか、ざっと見ていただいて、これちょっと量が余りにも多過ぎるので、一人2個か3個ぐらい、これとこれおもしろいんじゃないかというのを、ばばばつと手挙げで言っていって、それで一つずつ精査したほうがいいんじゃないですか。

平口委員。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

そのようにしますか。

個々にちょっとチェックをしてみてください。2、3個ぐらいでいいので。

○（平口朋彦君）

もっと多ければ多いほどあれですけど。重なる部分もあると思うので。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

2、3個だとちょっと大変だと思うので、4個か5個ぐらいまでオーケーなので。

○（藤野 守君）

13、4個でしたっけ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

そうです。多分、だぶってくるのも出てくるのかなと思うので。

どうでしょうか。よろしいですか。

それでは、平口委員のほうから、お願いいたします。

○（平口朋彦君）

私、すごい多い、ちょっと絞れていない、まだ。14個あるので。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、原口委員、お願いします。

○（原口康之君）

市民的に興味があるところに絞って、歳出2-1-1。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

一般管理費のところ。

○（原口康之君）

あと、2-1-9、企画費の交通政策費。7-1-3のMIJBCの関係。あと、9-1-5の災害対策費。デジタル、濱崎議員の。

ちょっとそのぐらいです、まだ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

私のほうは、2-1-14の大井議員のところ警察の協定の内容というところ。それから、ページめくっていただいて、4-1-1、保健衛生総務費のところ、良知議員のところ、市内出身のところ、というところ、

それから、隣のページにあって、7-1-4で、観光費、村田議員の地域活性化センターの事業内容というところ。それから、自分の9-1-5で、デジタル化のところですね、同じくというところ、原口議員と同じです。それから、3-1-1、介護予防生活支援サービス報酬金のところ、

以上です。

では、藤野委員、お願いします。

○（藤野 守君）

2-1-9の、企画費の交通政策費。それと、2-1-9の企画費で移住定住促進事業。それと、3-1-3、成年後見制度の、ちょっと内容を十分覚えていないんですけど、村田議員の。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

吉田町との関係があった。

○（藤野 守君）

両方です。

それと、今、国の事業で少し補正がちょっとされているので、4-1-3の母子衛生費の特定不妊治療費助成金、ここです。

それから、文教厚生の方になります。4-1-7の環境衛生事業費、これは大石議員のところですね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

今のところ、ダイオキシンのところでいいです。二つあるけど。再生可能エネルギーの。環境政策費のほうね。

○（藤野 守君）

環境政策費ね。

○（平口朋彦君）

これ。今後の対応になっちゃっているの。

○（藤野 守君）

4-1-7、大石議員のほう。

○（平口朋彦君）

不法投棄。

○（藤野 守君）

それと、もう一点が、9-1-5の、さっきも出た、デジタル化整備事業、ここ。
以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、吉田委員、お願いします。

○（吉田富士雄君）

ダブっているかもしれないけど、18-1-1。中野議員の。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

一般寄附金。

○（吉田富士雄君）

ふるさと納税。それと、2-1-9、定住。次のページへ行って、4-1-3。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

4-1-3、どっちですか。

○（藤野 守君）

事業名言って。

○（吉田富士雄君）

特定不妊治療。4-1-7、環境衛生費。衛生事業費の。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

環境保全、政策。

○（吉田富士雄君）

環境衛生、不法投棄。

6-1-2、荒廃農地。それと、村田議員が言っている7-1-4の上。

それだけ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、平口委員、お願いします。

○（平口朋彦君）

1枚目、2-1-9、鈴木千津子議員の定住促進事業。

2枚目って、一番上、これも鈴木千津子議員の配食サービス事業。その下の4-1-1、地域医療振興事業費、これの原口議員と良知議員の、市内出身者の医大生。

3枚目にあって、デジタル化整備。あと、自分ので申しわけないんですけど、特会から出した
いので、40歳到達オプション。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

5-1-1ですね。

○（平口朋彦君）

あと、同じく特会からアクティブシニアいきいきなんちゃらかんちゃらです。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

今出てきたので、17個。とりあえず、これで割り振ってみて様子見る。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございます。では、今いただきました17で、基本的には皆さんがご指摘いただいた、多いところから載せさせていただくようにさせていただいて、特会と一般会計の分類も見ながらさせていただいてという形でよろしいでしょうか。どんな感じでよろしいですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでよろしいですか。

○（藤野 守君）

それで三つ四つ、削らないとならないと思うんだけど。多いものが出てくるんだよね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

今、事務局からあったように、ダブっている部分が多かった部分、その部分を最初に持っていくような形にさせていただいて、2、3個ぐらい載せることはできないかもしれませんが、一応こんな感じで、17個、割り振りをしていきたいと思います。

なお、割り振りに関しましては、冒頭で言ったように、鈴木長馬委員も交えてというところでやっていきたいと思います。

それでは、割り振りのほう、よろしいですかね。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、18-1-1から、これは鈴木長馬委員にということだよ。2-1-1、これは平口委員。2-1-9、これは原口委員。2-1-9、移住定住、これは私です。2-1-14、市民相談センターのところですね、これを藤野委員。3-1-3、老人福祉費、成年後見のところを吉田委員。一枚目の一番下。

ページをめくっていただいて、同じく3-1-3の老人福祉費、配食サービス、これを鈴木長馬委員。4-1-1、地域医療振興費、原口委員と良知議員のところ、これを平口委員。4-1-3の母子衛生費、特定不妊治療助成金、これを原口委員。4-1-7、環境衛生事業費、これは私ですね。6-1-2、荒廃地活用事業費、これを藤野委員。7-1-3、企業立地政策対策費ですね、これを吉田委員です。

隣のページにいて、7-1-4、観光振興対策費、これを鈴木長馬委員。9-1-5、同報無線デジタル化、これを平口委員。国民健康保険にいて、5-1-1ですね、特定検診事業費、これを原口委員。介護のほうにいて、4-1-1、アクティブシニア、これを私です。3-1

－ 1、生活支援サービス事業費、これを藤野委員。

以上ですよね。

これは文字数、どれぐらいでしたっけ。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

100字でよろしいかと思います。ただ、会議録につきましては、ちょっと行われたから2週間ほどかかるものですから、10月の12の週ですかね、来週、再来週に恐らくなってしまうかなというふうに担当からは聞いておりますので、どうしても1回目のワード原稿の編集の確認には、少し間に合わないかなというところがございますので、来次第送らせていただいて、可能であれば、2回目の、要はゲラ刷り原稿の確認が19日、月曜日にありますので、そこにワード原稿で見えていただいて、ゲラ刷り原稿1回目の確認の後、小山さんへ持っていくときには載っていたほうがいいかなと思うので、ちょっと会議録が来るタイミングになるかと思いますが、そんな形ですみませんが。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ちょっと大変かもしれませんが、とりあえず、メールを送っていただければと思います。

では、割り振りは以上ようになります。

きょうはここまでかな。

○事務局書記（本杉周平君）

補正はあれでしょうかね、全部。これももう一枚の。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

すみません、ありました。

これはとりあえず。これは何ページ分。

○事務局書記（本杉周平君）

1ページなので、全部載せることは可能かなというふうには思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

とりあえず、ここで割り振っちゃいましょう。

一番上、鈴木長馬委員ですね。次、3-1-2、平口委員。7-1-1、私。7-1-4が藤野委員。10-1-2、これが吉田委員。9-1-1、これは私がやっておきます。

誰か抜けているの。

ごめんなさい、一個抜けちゃったっけ。それでは、7-1-1から、これが原口委員。抜けました。7-1-4が私。10-1-2が藤野委員。9-1-1、一番下が、これは吉田委員。すみません、抜けていました。

もう一回、上から言いますね、2-3-1が鈴木長馬委員、3-1-2が平口委員、7-1-1が原口委員、7-1-4が私、10-1-2が藤野委員、9-1-1が吉田委員。

以上です。

○（平口朋彦君）

9-1-1、大変だと思う。質問している自分が言うのもなんだけど、これは。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

100文字で。

これ、逆にする。平口委員のところ、やってもらう。

○（吉田富士雄君）

やってもらってもらったほうがいいかな。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

じゃあ、このところだけ。9-1-1は平口委員、やってください。3-1-2を、吉田委員、やってください。3-1-2、上から2段目ね。

○（吉田富士雄君）

ありがとうございます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

これでいいかな。

○事務局書記（本杉周平君）

すみません、補正のほうも同様に、会議録が来るのが少しお時間かかりますので、来次第送らせていただいて、決算と同様、100字程度ということで、お願いします。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

その他、ほかの原稿は全部出てきている。

○事務局書記（本杉周平君）

きょう、一般質問の締めなので、まだ出てきていない方もいますけれども、きょう多分。

7月臨時会の質疑については、若干出てきていない方もいるので、それは催促するなり、私のほうで議事録を見ながらつくるなり、対応します。

○（原口康之君）

この代理というのは、100字100字だったか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

これはどうする。

○事務局書記（本杉周平君）

それか、ちょっとわかりませんが、よさそうなほうで。それでも。

○（原口康之君）

そのまとめやすいような感じでいいと思う。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございます。では、すみませんが、決算連合審査及び補正連合審査につきましては、

また少しお手数をおかけしますが、会議録をご確認いただきながら、原稿のほうをよろしくをお願いします。

また、巻末の記事につきましては、すみません、藤野委員と平口委員、文教の視察と坂口谷川の要望ということで、申しわけありませんが、こちらのほうもよろしく願いいたします。

あと、議会報告会の記事につきましては、今、議運のほうでやっていた形になりますので、ゲラ刷り1回目とかには、どうしますか、送っちゃって、一緒に見る感じのほうがいいですか。

○（平口朋彦君）

正直、もうほとんどできちゃったので、こっちは。ゲラ刷りの1回目から送っちゃって、一度皆さんに見てもらおう。

○事務局書記（本杉周平君）

その辺は、また議運のほうと話をしながらやらせていただきます。ですので、場合によっては、次のワード原稿の確認のときに、少し空白が多い、どうしても補正予算と決算連合については入らないものですから、空白が多い段階での確認という形になるかもしれませんが、よろしく願いいたします。

3 その他

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝君）

それでは、その他、何か連絡とかありますでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝君）

ないようであれば、これで本日の議会広報特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

〔午前 11時30分 閉会〕